

第2回 岡山市公共交通網形成協議会 議事要旨

日時：平成30年8月24日（月）15:00～

場所：岡山市役所本庁舎7階会議室

<議事（1）：これからの地域公共交通の方向性について>

【資料1-1】これからの地域公共交通の方向性について

組織名	質問・意見
西日本旅客鉄道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性の高いサービスをいかに持続的な形で維持、向上できないかということが非常に大切だと認識している。 ・鉄道の特性を踏まえた上で、事業経営として持続可能な計画として取り組む必要があるが、自社だけの取り組みというのには限界がある。 ・示された施策の方向性を踏まえつつ、行政、事業者同士の連携を高め、市民のご理解をいただけるよう取り組んでいきたいと考えており、関係する皆様のお力添えをいただきたい。
岡山電気軌道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・20世紀の競争型から、21世紀の少子高齢化や人口減少時代にむけて路線を維持する方向へ転換する必要がある、その意味で、先般、岡山市が政令指定都市市長会を代表して、路線バスの維持に関する提言を国へ提出したことに対して敬意を表する。 ・岡山市では、都心にバス路線が集中し、周辺部で希薄化していることを問題視している。広く路線を広げて便利にするため、輻輳しているところを振り分けるような調整をして、住みやすい岡山をどうやって作っていくか考えることが必要である。 ・大きな方向性が示されたことは、高く評価したい。
中鉄バス株式会社 (中鉄北部バス株式会社)	<ul style="list-style-type: none"> ・LRTが計画されている地域を運行していることから、これと連携し、フィーダー輸送的なものでも役に立ちたいと考えている。 ・自動運転の実証実験が全国各地で実施されており、バスがそこに行き着くにはまだ時間がかかるため、それまでのつなぎの期間での乗務員不足を懸念している。 ・そのため、大型2種免許の取得条件を緩和したり、公共交通特区のようなものを作って、外国人労働者を活用するなど、免許を持っている方のパイを増やす必要がある。
宇野自動車株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・示された方向性について特に意見はなく、汎用性の高いものだと思っている。 ・ここで示された状態に至るまで、岡山固有の問題をどう解決していくか。例えば、岡山駅前広場のターミナルの問題も何十年もかかっている。 ・現在も、昭和50年代ごろの利用者の多い良い時代の体制のままになっていて、利用者が減っている中で、赤字路線を継続していく力が弱まっている。そのような状況で、100年を争う8社と新規参入事業者で、今後どのように進めていくのか。そのあたりをまずは解決する必要があるのではないかと。 ・ダイヤ調整1つを取り出してみても、弊社の後楽園バスについて、競合他社は弊社の5分前に臨時便を運行している。どこからが過当競争でどこまでが適切な競争なのか。 ・運賃についても、安いところと高いところを比べると、倍程度違うなかで、ゾーン運賃にするのなら、弊社は100円のゾーン運賃になる。 ・これから具体的話をしていくときに、議論のベースとなる入口のところをしっかりと整理しないと、30年前と同じことになると思う。
両備ホールディングス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米の政策を参考にしていると思われるが、意思決定の方法や財源の仕方が異なるので、理想に到達するまでには、今までと違うやり方が必要なのではないかと。 ・個別の問題を解決していかなくてはならないが、方向性としては意義深く、賛成である。
東備バス株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化や人口減少の影響を大きく受けている地域で運行しており、住民の足を守っているのがなかなか厳しい状況が続いている。 ・今日示されたこのような方針で、一つ一つ問題を解決し、法改正しながら、やっていくことが住民の足を守ることにつながると考える。

第2回 岡山市公共交通網形成協議会 議事要旨

日時：平成30年8月24日（月）15:00～

場所：岡山市役所本庁舎7階会議室

組織名	質問・意見
備北バス 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化、特に戦後世代の方が増えて行くなかでのどのように高齢者の足を守っていくか、今までのことに固執することなく、しっかり見極めながら進めていきたい。
下津井電鉄 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・バスを取り巻く環境が変わってきているため、事業の形態も変えていかなくてはならない。事業者だけでは、難しいので、行政と一体となって取り組んでいきたい。
八晃運輸 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局案の方向性には全く異論はない。但し、事業者目線、利用者目線、行政目線でどのように進めていくのか、入口のところをしっかりと本音で議論しないといけない。
一般社団法人 岡山県タクシー 協会	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーはここ10年ぐらいで公共交通に位置付けられるようになり、電車やバスの終発以降とか、ドアツードアでの利用要請が求められる病院へ行かれる方などに利用いただいている。これからも公共交通として担っていきたい。
岡山市 連合町内会	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限りバスを利用したいと思うが、本数が少ない、運賃が高いなどで使いにくい。 ・役割分担として行政は何をするのか。行政の積極的な調整が必要と考えるが、岡山市は事業者間の調整はしないのか。 ・たとえば、東区役所への路線バスの接続を事業者をお願いしているが実現しない。これを行政にお願いした場合に、行政は事業者に指導できるのか。それができるように岡山市に主導的にやってもらいたい。 <p>⇒（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の競争の中でサービスが向上してきた状況はよいことであったが、今後の人口減少下においては、自由競争だけでは、公共交通網を維持できないと考えている。 ・岡山市にふさわしい公共交通網を実現するには、それぞれの役割分担のもとで進めていく必要があると考えており、岡山市は調整も含めて、目標を実現するために、この会議で主導的な役割を果たしていきたい。
岡山市 連合婦人会	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物などの生活交通と公共交通をうまく結び付けていくことが大事と思う。 ・運賃設定の考え方がわからない。わかりやすい料金体系に努めていただきたい。
岡山市 障害者団体連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子が必要な方は、マイカーを使っている。バス停がある幹線道路から外れたところでは使いにくい。バス停の配置についても考えていただきたい。 ・サービス向上と言うが、利用者が多くないと難しい。いかに利用者を確保するか、事業者各社からアイデアを出してほしい。
岡山商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> ・交通政策は、医療、高齢化、活性化などにも結び付いているので、そういう認識で議論していただきたい。 ・事務局から方向性や役割分担の提案があり、今後の目標は明確になった。これをどう実現していくか。例えば、事業者が多いことをポジティブに捉えて、岡山モデルを考えてほしい。
おかやま観光コン ベンション協会	<ul style="list-style-type: none"> ・90年代から旅行形態は、団体旅行から個人旅行に変わってきており、それに伴い、2次交通の重要性が増している。 ・交通事業者の都合ではなく、来訪者にどうやって利用していただくかという目線で、9社で2次交通をどのように使っていただくかということを考えてもらいたい。 ・外国人からすると、バスに乗り、景観を楽しむということは良いこと。わかりにくい、不便だと感じさせてはダメ。例えば、1種類のチケットで全事業者のバスに乗れるなど、どのように事業者が連携していくか考えてほしい。

第2回 岡山市公共交通網形成協議会 議事要旨

日時：平成30年8月24日（月）15:00～

場所：岡山市役所本庁舎7階会議室

【資料1-2】実施可能性を検討する施策の例

組織名	質問・意見
橋本准教授	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通として取り組む施策は概ねそろっているが、範囲を狭く捉えた計画となっているのではないかと。3者の役割分担として、事業者の役割とあるが、公共交通利用者が減少し、免許保有率が高まっている状況では、交通事業者以外の事業者として、企業や病院などの一般の事業者も含めて、公共交通の利用促進に取り組んでいく必要があるのではないかと。 例えば、公共交通を利用すると、優先的に診察してもらえたり、買物すると特典があるなど、様々な機関と協力するとかなど、周辺も巻き込んで行くという視点が必要ではないかと。
阿部会長	<ul style="list-style-type: none"> マイカー利用のことをどのように扱うのか。 <p>⇒（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> マイカー利用も含めバランスの良い交通体系を形成していきたい。マイカー利用についても、時差出勤で渋滞に配慮したり、橋本委員のご指摘のように企業と一緒に取組むなど、総合的に考えていきたい。
岡山電気軌道株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市だけでなく、国、県との役割分担も必要である。 全国の公共交通分担率は10%程度あるが、岡山の公共交通の分担率は7%しかない。そこに9社が入っている。 市民とも、マイカーとの共生の中で、協働しながら進めていくことが大事と考える。

<議事（2）：今後の進め方について>

組織名	質問・意見
阿部会長	<ul style="list-style-type: none"> スムーズに効率的に議論を進めていくためには、幹事会で議論することが効果的と考える。 幹事会の会長を、橋本准教授にお願いしたい。
橋本准教授	<ul style="list-style-type: none"> 幹事会では、利用者目線でしっかりと取り組むとともに、事業者の経営健全化も含めて、将来にわたって公共交通が提供され続けるという社会をどう実現していくかを議論していく必要があると考えている。

